

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	農村公園維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業
	係	農山村振興係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度	—	事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	土地改良事業等の導入に伴い、地元からの要望により整備した公園の維持管理事業。計8箇所の農村公園を維持管理している。（下彦間農村公園、白岩農村公園、御神楽農村公園、役の溜ふれあいの里、中農村公園、あくど農村広場、氷室農村公園、飛駒出川湧水公園）
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農村居住者の健康増進と憩いの場として適切な利用ができるように維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		不都合なく利用できている公園/公園設置数	%	100	100	100	100	100

### （3）目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・光熱水費の支払及び消耗品の購入 ・トイレ清掃、ゴミ拾い、草刈り及び芝生の管理 ※町会やシルバー人材センターへ業務委託 ・浄化槽維持管理（業務委託） ・クビアカツヤカミキリ対策	活動指標	単位	R3	R4	R5
		公園設置数	箇所	8	8	8
		事業費計	千円	2,743	1,883	2,481
		一般財源	千円	2,743	1,883	2,239
		特定財源（国・県・他）	千円			242
		（うち受益者負担）	千円			

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	定期的な清掃・除草や、老朽化した遊具の撤去等を適宜行い、利用者が安全に公園を利用できるよう維持管理した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		不都合なく利用できている公園/公園設置数	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない		費用	
			費用は下がった		
			費用の増減無し		
			費用が増加した	○	

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度から、遊具の点検を専門業者に委託して実施した。その結果、老朽化により撤去や修繕を要する遊具が複数確認されている。
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	撤去や修繕を要する遊具が複数あるため、令和6年度以後計画的に遊具の撤去・修繕を進める。
------	---

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	栃木県中山間地域活性化推進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		栃木県中山間地域活性化推進協議会規約	開始年度	H8	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	-	事業分類	参画事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	中山間地域を抱える栃木県の市町が、緊密な連携を図ることにより中山間地域の活性化を推進することを目的とする協議会に参画する。 栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、那須烏山市、茂木町、塩谷町、那須町、那珂川町の12市町で構成される。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	過疎化や高齢化の進行など、様々な課題を有する栃木県の中山間地域を抱える市町間の緊密な連携を図ることにより、中山間地域の活性化を推進することを目的とする。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 負担金の支払、総会・事務連絡会議の参加、民間発行の雑誌への情報掲載、県内外事例調査（講演会）や、とちまるショップ出展（アンケート実施等）に参加した。 (栃木県中山間地域活性化推進協議会の活動) 総会、事務連絡会議、予算確保の要望活動、中山間地域PRグッズ作成、民間発行の雑誌等への記事掲載を行った。
--------------------------	---

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
イベント等の参加回数	数	1	1	1
広報誌等の発行部数	部	43,000	43,000	43,000
事業費計	千円	381	340	340
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	381	340	340
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	12月のとちまるショップ出展では多くの来場者があり、県内の中山間地域の魅力を多くの方にPRすることができた。
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

構成市町の持ち回りで事務局を担っているため、現状以上の事業の拡大は難しい。
---------------------------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	引き続き構成市町と緊密な連携を図り継続的な活動を行うことにより、県全体の中山間地域の活性化を図る。
------	---

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	中山間地域等直接支払交付事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		中山間地域等直接支払交付金実施要領	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	農業の有する多面的機能の確保を図るため、農用地に傾斜がある等により生産条件が不利な中山間地域等において、農用地を維持・管理する協定に基づき5年以上継続される農業生産活動等を行う集落に対し交付金を交付する。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	協定期間において農業生産活動等を維持することにより、中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し多面的機能を確保することを目的とする。
-------------------------	---

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
農業生産活動面積/協定した農用地の面積	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 協定に基づく農業生産活動を行った集落に対し、交付金を交付した。 (事業主体の活動) 協定に基づく活動 梅園町新耕地集落 22,843㎡ 梅園町保木沢集落 17,495㎡ 御神楽町中妻集落 13,357㎡
--------------------------	--

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
要件を満たす農用地の面積	ha	18.2	18.2	18.2
事業費計	千円	995	995	995
一般財源	千円	258	258	258
特定財源（国・県・他）	千円	737	737	737
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	本事業により、取組集落における農用地が適正に管理され多面的機能が確保された。
------------------	--

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
農業生産活動面積/協定した農用地の面積	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 1指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用が下がった			
費用の増減無し		○	
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本事業の対象となる中山間地域は、高齢化が著しく、本事業の実施が困難となる集落が年々増えている。
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	必要に応じて関係機関と連携しながら、取組集落を支援する。
------	------------------------------

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	中山間地域おこし協力隊員設置事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項	2	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		地域おこし協力隊推進要綱（総務省）ほか	開始年度	H27	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	-	事業分類	その他市民に対する事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	3大都市圏をはじめとする市外の人材を誘致し、地域活動に従事してもらうことをもって、地域力の維持及び強化や地域の活性化を図る。地域おこし団体と一緒に活動する隊員に、報償金や地域協力活動事業補助金を交付する。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	中山間地域おこし協力隊員を設置して地域おこし団体等との協働活動や地域資源等の活用・PRを行うことにより、地域力の維持・強化や中山間地域への誘客等を促進し、地域活性化を図る。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
中山間地域の施設利用者数	人	112,000	90,000	97,300	104,600	112,000
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・ 閑援隊の活動補助、活動PR、商品の販路開拓（米・サツマイモ栽培及び甘茶の販路開拓サポート、県事業の現地交流会受入サポート、県補助事業を活用した農業・林業体験の受入体制整備サポート等） ・ 中山間地域の情報発信及び広報活動（イベント出展によるPRや地域資源の販売等。中山間地域及びそばスタンプラリーのPR動画作成） ・ 地域の活力の維持及び強化に資する活動（農村レストランのPRチラシの作成、狩猟免許を活用した有害鳥獣捕獲活動で鹿5頭を捕獲）
--------------------------	--

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
協力隊員数	人	1	1	1
中山間地域の人数	人	10,324	10,072	9,866
事業費計	千円	3,390	3,304	2,920
一般財源	千円	3,390	3,304	2,920
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	隊員と共に活動する団体「閑援隊」が農業体験等の取組を行い、隊員がそのPR等をサポートすることにより市内外から多くの人を呼び込んだ。また、むらづくり団体が行うそばスタンプラリーの動画や農村レストランのチラシを作成し、誘客を促進した。
------------------	---

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
中山間地域の施設利用者数	人	37,292	57,506	61,878	値が大きいくらい	効果が上がった
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいくらい	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○		
費用の増減無し			
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

閑馬地区に設置した隊員の任期が令和6年1月で満了した。中山間地域で活動する地域おこし団体等から隊員設置の相談はあるが、団体における受入体制の整備に時間を要しており、現時点では新たな導入地区や時期についての具体的な見通しは立っていない。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	隊員の設置を希望する団体等で受入体制が整う団体があれば、設置に向けた協議を重ねて予算措置や募集要項等の準備を行う。
------	---

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	全国山村振興連盟栃木県支部参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農山村振興係			項	2	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	不明	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度	-	事業分類	参画事業	
	施策	3	中山間地域の活性化						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	地域林業の振興と山村地域の活性化を目指した活動を行う全国連盟の県支部に参画する。 栃木県内の山村地域のある11市町で構成：鹿沼市、日光市、矢板市、那須塩原市、佐野 大田原市、栃木市、茂木町、塩谷町、那珂川町、那須町
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県内の山村地域を抱える市町における林業のさらなる発展振興を目指し、山村の地域格差、所得格差の是正を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

### （3）目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 負担金の支出 (団体の活動) 林野等に関する重要な情報及び参考資料の提供、林野問題に関する重要な林政に関し、県、政府、国会並びに政党に対する建議、要望等。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		山村振興情報の提供	回	6	6	6
		事業費計	千円	40	40	40
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源(国・県・他)	千円	40	40	40
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	林野等に関する国会・政党等への建議・要望活動や、国の政策等にかかる情報の提供を受け、林業振興と山村地域の活性化に係る市の施策の参考としている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	○		
	効果が下がった指標数	0指標			
指標全体	効果が上がった				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

国の施策等に係る情報の提供を受け、林業振興と山村地域の活性化により効果的な市の各施策への反映を検討する。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 上記に同じ
---	---------------

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	作原地区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農山村振興係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市むらづくり団体イベント	事業期間	開始年度	H1	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	開催支援事業費補助金交付要領	終了年度	-	事業分類	支援事業	
	施策	3	中山間地域の活性化						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動するむらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成する。 ※作原地区むらづくり推進協議会は、作原地区の地域活性化のため、蓬山まつりを春と秋に実施している。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	むらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の開催を支援することにより、地域の活性化に寄与する。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 祭り・イベント等が中止となったため補助金を交付できなかった。 (作原地区むらづくり推進協議会の活動) 蓬山春まつり(4月)、蓬山秋まつり(10月)については、コロナ対応等により中止となった。
--------------------------	---

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
イベント等実施回数	回	0	0	0
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	指標である農産物直売所・農村レストラン売上額についてはコロナ禍からの回復傾向が見られたが、イベントの中止により本事業による誘客や地域経済の活性化には寄与できなかった。
------------------	---

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果(R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
--------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
団体の活動の一助とするため、令和6年度以後も継続して支援を行う。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	菜蟲館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係	根拠法令、条例等	事業期間	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	123			名称	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1			魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	開始年度	H14	実施方法	一部委託
	政策	2			地域資源を活かしたまちづくり	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
施策	3	中山間地域の活性化	佐野市菜蟲館条例						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	農林産物の付加価値を高め、地域農林産物の消費拡大等により農林業の振興・活性化に寄与するため設置された菜蟲館の維持管理事業。 所在地：佐野市柿平町473番地1 延床面積：357.73㎡ 建築面積：425.01㎡
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	地元住民や団体等が農林産物の加工販売等に本施設を活用することにより、地域農林業の振興と活性化を図る。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
営業日数	日	0	0	0	0	0
来客数	人	0	0	0	0	0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・利用申請受付、利用許可書発行、使用料徴収 ・施設維持管理（敷地内除草をシルバー人材センターへ業務委託） ・施設の点検及び修繕 ・光熱水費の支払い及び消耗品の購入
--------------------------	--

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
利用許可証の発行件数	件	12	6	7
修繕箇所数	箇所	0	0	0
事業費計	千円	776	817	815
一般財源	千円	697	738	753
特定財源（国・県・他）	千円	79	79	62
（うち受益者負担）	千円	79	79	62

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	毎月1回施設を見まわり、利用者が支障なく施設を活用できるよう維持管理した。
------------------	---------------------------------------

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
営業日数	日	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
来客数	人	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 2指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用が下がった			
	費用の増減無し		○	
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

地元のむらづくり団体の活動休止により、農村レストランは平成27年4月以降休館中。農村レストラン以外では、個人等によるみそ加工の利用がある。
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
引き続き、利用者が支障なく施設を活用できるよう維持管理を行う。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	佐野市むらづくりそばスタンプラリー開催支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		佐野市むらづくりそばスタンプラリー開催事業費交付金交付要領	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	そば生産の盛んな中山間地域の活性化を図るため、市内のむらづくり団体が運営する農村レストランを巡るそばスタンプラリーを開催する。このスタンプラリーの主催団体である佐野市むらづくり推進協議会へ交付金を交付する。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	そばスタンプラリーの開催により、農村レストランへの誘客を促進し、中山間地域の活性化を図る。
-------------------------	---

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スタンプラリー応募件数	件			400	450	500

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 協議会事務局として、従来のそばまつりからスタンプラリー方式へ変更して開催する案をとりまとめ協議会に諮った。また、協議会に対し開催経費に係る交付金を交付した。 (協議会の活動) 従来のそばまつりからスタンプラリー方式に変更して開催する方針を決定し、実施した。
--------------------------	--

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
農村レストラン数	店			4
開催期間	日			86
事業費計	千円	0	0	800
一般財源	千円			800
特定財源(国・県・他)	千円			0
(うち受益者負担)	千円			0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スタンプラリーの開催により、延べ269名が全4店舗の農村レストランを巡り、賞品の抽選に応募した。各店舗では、このスタンプラリーにより初めて訪れるお客様や、若いお客様が増えたという声があった。
------------------	---

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
スタンプラリー応募件数	件			269	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果 (R5とR4の指標値増減)	1指標
	0指標
	0指標
指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果		
費用	効果が上がった	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

各団体の人的負担や事務局の負担を軽減するため、令和5年度より従来のそばまつりをスタンプラリー方式に変更して開催した。令和6年度以後は、スタンプラリーの台紙を持ち歩かずにスマートフォンを使って参加でき、更なる事務の効率化も期待できるスタンプラリーのデジタル化を検討する。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
令和6年度は、システムを使用したデジタルスタンプラリーにより実施する。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	高齢者センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農山村振興係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市農林漁家高齢者センター条例	事業期間	開始年度	H1	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	3	中山間地域の活性化						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	農林業地域の特性を生かした高齢者の生きがい対策の実現と、地域的連帯感の高揚及び本市の農林業の振興に寄与するために設置された高齢者センターの維持管理事業。 所在地：佐野市仙波町2445番地1 延床面積：413.98㎡ 建築面積：460.49㎡
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	地域住民や団体等が農産物の加工販売等に本施設を活用することにより、地元の農林業の振興と地域活性化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		営業日数	日	120	120	120	120	120
		来客数	人	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・利用申請受付、利用許可書発行、使用料徴収 ・施設維持管理業務委託（仙波地区むらづくり推進委員会） ・施設の点検及び修繕 ・光熱水費の支払い及び消耗品の購入	活動指標	単位	R3	R4	R5
		利用許可証の発行件数	件	34	29	29
		修繕箇所数	箇所	4	0	2
		事業費計	千円	1,644	1,550	1,910
		一般財源	千円	726	440	622
		特定財源（国・県・他）	千円	918	1,110	1,288
		（うち受益者負担）	千円	918	1,110	1,288

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設の修繕や老朽備品の買替え等を随時行い、利用者が支障なく施設を活用できるよう維持管理した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		営業日数	日	97	94	119	値が大きいほど良い	効果が上がった
		来客数	人	4,120	4,775	6,015	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用が下がった	
			費用が増加した	○	

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本施設は主に農村レストランの営業に活用されているが、運営団体の高齢化が進み、後継者が不足している。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き適切な維持管理を行うとともに、農村レストランが継続的に運営されるよう、団体に対し必要に応じて関係機関と連携しながら支援を行う。
---	---

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	下彦間地区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		佐野市むらづくり団体イベント	開始年度	S62	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		開催支援事業費補助金交付要領	終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動するむらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成する。 ※ 下彦間地区むらづくり推進協議会は、下彦間地区の地域活性化のため、憩い館感謝祭、ホテル祭り、新そばまつり等を実施している。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	むらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の開催を支援することにより、地域の活性化に寄与する。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 本事業の対象となる祭り・イベント等が中止となったため補助金を交付できなかった。 (下彦間地区むらづくり推進協議会の活動) 憩い館感謝祭(4月)、ホテル祭り(6月)については、コロナ対応等により中止となった。 ※新そば祭り(11月)は、別事業による支援を活用し実施した。
--------------------------	---

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
イベント等実施回数	回	0	0	0
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	指標である農産物直売所・農村レストラン売上額についてはコロナ禍からの回復傾向が見られたが、イベントの中止により、本事業による誘客や地域経済の活性化には寄与できなかった。
------------------	--

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用が下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
--------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
団体の活動の一助とするため、令和6年度以後も継続して支援を行う。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	魅力ある中山間地域づくり事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		魅力ある中山間地域づくり事業費補助金交付要領	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	地域おこし団体等が実施する農村体験、都市住民との交流や誘客促進、定住促進に向けた取組、地域の特性を活かした農産物生産、その他、地域に人を呼び込むために必要な機械の導入や施設の整備・改修等の条件整備に対し補助を行う。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	中山間地域の豊かな自然、美しい景観、地域の伝統文化などの地域資源を生かした都市住民との交流等を通じて、地域に多くの人を呼び込むために必要な機械や施設の整備を支援し、地域の活性化を図り、魅力ある中山間地域の形成を促進する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		中山間地域の施設利用者数	人	112,000	90,000	97,300	104,600	112,000

### （3）目標値

		農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800
--	--	-------------------	----	---	--------	--------	--------	---------

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	【事業主体】 関係隊 【実施内容】 林業体験実施に向けた資機材整備（チェーンソー、新割機、新割斧、薪棚、機械保管庫用資材一式の購入及び組立設置） ・農業体験実施に向けた果樹棚整備（果樹棚用資材一式の購入及び組立設置）
--------------------------	--

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
補助金交付の手続き	件			1
事業費計	千円	0	0	1,000
一般財源	千円			500
特定財源（国・県・他）	千円			500
（うち受益者負担）	千円			0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	本事業により林業体験及び農業体験実施に向けた資機材を整備した。整備の過程で果樹棚の整備体験イベントを実施し、また、整備後には林業体験イベントを実施し、市内外からの参加者があった。次年度以後も定期的な体験イベントの開催を予定している。
------------------	--

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
中山間地域の施設利用者数	人	37,292	57,506	61,878	値が大きいくらい	効果が上がった
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいくらい	効果が上がった

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

費用	費用が下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

中山間地域で活動している地域団体等の高齢化や会員の減少により、事業を活用できるような新たな取組を行う人的余力のある団体が減ってきている。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	令和6年度は団体からの事業活用の要望はないが、団体が必要とする年にあわせて事業を活用できるよう、事業を紹介していく。
------	--

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	飛駒地区むらづくり推進協議会イベント開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業
政策体系	係	農山村振興係	根拠法令、条例等	事業科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	123			目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			事業開始年度	S63	実施方法	直営
	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり			事業終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	3 中山間地域の活性化	付要領						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動するむらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成する。 ※飛駒地区むらづくり推進協議会は、飛駒地区の地域活性化のため、鯉来まつり、根古屋森林公園まつりを実施している。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	むらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の開催を支援することにより、地域の活性化に寄与する。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 祭りの開催に要する費用の一部について、補助金を交付した。 (飛駒地区むらづくり推進協議会の活動) 鯉来まつり(5月)を実施した。 ※根古屋森林公園まつり(11月)は、別事業による支援を活用し実施した。
--------------------------	---

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
イベント等実施回数	回	0	0	1
事業費計	千円	0	0	21
一般財源	千円	0	0	21
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	令和5年度はコロナ禍以後中止となっていたイベントが再開され、会場には多くの来客があった。□
------------------	---

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用が下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
--------------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
団体の活動の一助とするため、令和6年度以後も継続して支援を行う。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	中山間地域実践活動支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		中山間地域実践活動支援事業費補助金交付要綱	開始年度	H28	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	地理的に不利な条件に加え、農業者の高齢化や過疎化による地域活動の停滞、集落機能の低下が問題となる中山間地域において、人を呼び込むための受け入れ体制づくりをはじめとした地域住民等の自主的な取り組みを支援する。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	地域おこし団体等が行う中山間地域に人を呼び込むための受入れ体制づくり等の自主的な取り組みを支援することにより、中山間地域の活性化を図る。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
中山間地域の施設利用者数	人	112,000	90,000	97,300	104,600	112,000
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 事業活用団体の掘り起こし (事業主体の活動) 令和5年度は活用団体なし	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助金交付の手続き	件	2	1	0
		事業費計	千円	496	600	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源(国・県・他)	千円	496	600	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	令和5年度は、本事業の活用団体の掘り起こしを行ったが、結果的に取組団体がなく事業が実施できなかった。しかし、11月に1団体から事業活用について相談があり、次年度の取組に向けた準備を行った。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		中山間地域の施設利用者数	人	37,292	57,506	61,878	値が大きいのほど良い	効果が上がった
		農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいのほど良い	効果が上がった

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

中山間地域で活動している地域団体等の高齢化や会員の減少により、事業を活用できるような新たな取組を行う人的余力のある団体が減ってきている。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 昨年に引き続き、事業の活用意向を示している団体と連携して取組を進める。
---	---

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	仙波地区むらづくり推進委員会イベント開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業
政策体系	係	農山村振興係	根拠法令、条例等	事業科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	123			目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			事業開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり			事業終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	3 中山間地域の活性化	付要領						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動するむらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成する。 ※仙波地区むらづくり推進委員会は、仙波地区の地域活性化のため、仙波地区新そばまつりを秋に実施している。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	むらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の開催を支援することにより、地域の活性化に寄与する。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
農産物直売所・農村レストラン売上高	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 新そばまつりを秋に実施したが、別事業による支援を活用したため本事業の補助対象外となり、補助金を交付できなかった。 (仙波地区むらづくり推進委員会の活動) ※新そば祭り(11月)は、別事業による支援を活用し実施した。
--------------------------	---

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
イベント等実施回数	回	0	1	0
事業費計	千円	0	52	0
一般財源	千円	0	52	0
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	指標である農産物直売所・農村レストラン売上高についてはコロナ禍からの回復傾向が見られたが、本事業による誘客や地域経済の活性化には寄与できなかった。
------------------	---

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
農産物直売所・農村レストラン売上高	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
--------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
団体の活動の一助とするため、令和6年度以後も継続して支援を行う。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	秋山の里協議会イベント開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農山村振興係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市むらづくり団体イベント	事業期間	開始年度	S62	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	開催支援事業費補助金交付要領	終了年度	-	事業分類	支援事業	
	施策	3	中山間地域の活性化						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	中山間地域の活性化を図るため、各地域で活動するむらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の事業の費用の一部を助成する。 ※秋山の里協議会は、秋山地区の地域活性化のため、ゆとりの文化展を実施している。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	むらづくり団体が実施する地域の特色を活かした祭り・イベント等の開催を支援することにより、地域の活性化に寄与する。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	-	97,800	98,800	99,800	100,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 祭り・イベント等が中止となったため補助金を交付できなかった。 (秋山の里協議会の活動) あきやま学寮(体験館)を会場とする、ゆとりの文化展(10月)についてはコロナ対応等により中止となった。
--------------------------	---

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
イベント等実施回数	回	0	0	0
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	指標である農産物直売所・農村レストラン売上額についてはコロナ禍からの回復傾向が見られたが、イベントの中止により本事業による誘客や地域経済の活性化には寄与できなかった。
------------------	---

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
農産物直売所・農村レストラン売上額	千円	46,464	76,242	78,350	値が大きいくらい	効果が上がった

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用が下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

団体構成員の高齢化が進み、後継者が不足している。
--------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
団体の活動の一助とするため、令和6年度以後も継続して支援を行う。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月13日

事業名	「佐野暮らし」のすすめ推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農山村振興課			款		新規or継続	継続事業	
政策体系	係	農山村振興係		事業期間	項		市単独or国県補助	国県補助事業	
	体系コード	123	名称		根拠法令、条例等	目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		佐野市さの暮らしサポート事業補助金交付要綱	開始年度	H22	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	R6	事業分類	支援事業
施策	3	中山間地域の活性化							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	高齢化が進展する中山間地域において、中山間地域の団体が実施する地域コミュニティの再生を図る取組に対し支援（補助金を交付）する。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	中山間地域の団体が実施する地域コミュニティの再生等の地域課題解決に向けた取り組みに対し支援することにより、中山間地域の活性化を図る。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
中山間地域の人口	人	-	10,000	10,000	10,000	10,000

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	本事業の活用はなかったが、小さな拠点づくりとの連携を通じ担い手の掘り起こしを図った。
--------------------------	--

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
研修会等参加	回	0	0	0
イベント出店回数	回	0	0	0
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	小さな拠点づくりとの連携を通じ担い手の掘り起こしを図った結果、常盤地区に小さな拠点づくりに取り組む新たな活動団体が発足した。
------------------	--

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
中山間地域の人口	人	10,324	10,072	9,866	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			○
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

政策調整課所管の小さな拠点づくり推進事業や県の類似事業等の活用により、本事業の活用実績がない年が続いている。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	本事業の支援制度「佐野市さの暮らしサポート事業補助金」の交付要綱において事業期間を令和6年度までと定めており、令和6年度末まで本事業を廃止する。
------	--